大学関係者の多い母校日体大の同窓会も、そろそろみんなでもう一度考え直したいものです。

同窓生の中には、各界で活躍している方もたくさんいます。教員だけの世界ではなかなか知り会えない人と繋がりをもっている方もいます。この力が日体大卒業生の力であり、あのオリンピックの活躍につながっていると思います。同窓会の先輩方と繋がりつつ、若い人でもベテランでも、それぞれの立場で今、自分の力を同窓会にも役立てていただき、盛り上げて行ければと思います。

世界にはばたけ 日体大

静岡県保護者会会長
鈴木　亙

日本体育大学静岡県同窓会の皆様には、保護者会の活動に対しご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

保護者会は、二百二十三名の学生を支援する保護者の活動で、六月には大学より教授やキャリア支援担当者、また静岡県同窓会より会長、事務局長を招いて総会を開催しています。講話では「大変貴重な話を聞かせて頂いた。」と好評でした。

毎年、年末には富士山女子駅伝、年始には箱根駅伝の往路にて、ゴールである芦ノ湖で同窓会の皆様と連携し、応援団、チアリーダーと、一つになり応援しています。

一月には、同窓会主催で静岡県就職対策研究会を開催しております。学生達は、今後の就職活動について熱心に講師の話に耳を傾けていました。

リオオリンピック・パラリンピックでは、多くの日体大生やOBが活躍しましたが、これもひとえに百二十五年の歴史を刻んできた、先輩方の努力の賜物です。東京オリンピック・パラリンピックでは更に飛躍し、世界の日体大となるよう願って、これからも保護者会は、同窓会と連携しサポートして行きたいと思います。

東京オリ・パラ大会に向けて

日本体育大学同窓会会長
瀧澤　康二（昭40卒）

静岡支部の皆様にはその後もお元気でご活躍のことと喜び申し上げます。早いもので私たちが待ちに待っている東京オリ・パラ大会は三年後に迫ってきました。私たちスポーツの専門大学で学んだ者はこの大イベントについてただ口を開けて待っているだけでは済みません。積極的に関わって協力し、このイベントを成功裏に導かなければならないでしょう。オリ・パラ大会開催の本来の目的はスポーツの普及を図り、究極世界平和に貢献することです。

母校には、新しく「オリンピック研究所」が設立されました。同窓会は母校と一体になり、更にオリ・パラ運動に貢献して行こうではありませんか。スポーツを普及させる手段は数え切れないほどあるはずです。

勝った、負けたと一喜一憂する姿だけがスポーツのもつ意味ではありません。私たちはこの好機に真のスポーツの在り方について改めて問う必要があるのではないでしょうか。

ご周知のように母校は今や実践と科学に裏打ちされた世界に冠たるスポーツの殿堂として認知されています。皆さんと共にこの繁栄を祝福し世界の平和に貢献したく存じます。

就職対策研修会に参加して

日本体育大学三年
石川　愛理

就職対策説明会では、様々な職種について見識を広げる良い機会となりました。また卒業後、静岡で就職を希望している私にとって、静岡県保護者会の会長様をはじめ多くの方々とつながりを持つことができ心よりうれしく思います。

今回、教員採用試験に関することや、今日における県内の就職状況や求められる人材などのお話をうかがい、将来の自己実現に向けて早く準備をしなければならないことを痛感させられました。正直、将来については「教員に向いているのだろうか」「高倍率の試験をどうしたら突破できるのだろうか」など多くの悩みがありました。しかし、今回の研修会で教員になるために必要な学力や面接で見られるポイントなど多くのことを学ぶことができ、不安や悩みは軽減し、前向きな気持ちへと変化しました。これから先、壁にぶつかることも多々あると思いますが、今回学んだこと、そして多くの方々に支えていただいていることを忘れず、日々精進して参ります。このような貴重な機会を設けてくださった静岡県保護者会の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。